

学年:	4年生	Stage:	Stage II	コード:	L4401	単位:	1.7
モジュール名	歯科麻酔学			科目担当責任者	脇田 亮		
モジュール名(英字)	Dental Anesthesiology			コース名	LOM 生命科学口腔病態系		
一般目標(GIO)	超高齢社会に突入し、歯科患者においても心疾患など全身に何らかの疾患を有する患者が急増している。そのため、歯科医師は常に全身を診る習慣、知識、技術が必要不可欠である。本モジュールでは歯科麻酔学ならびに歯科治療時における全身管理に対する知識を習得することを目標とする。						
ユニット:一般目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯科麻酔学概論と局所麻酔法 歯科医学における麻酔の歴史と役割について学ぶ。歯科における局所麻酔法を理解する。局所麻酔時の全身的合併症を学習する。</li> <li>2. 歯科麻酔管理に必要な基礎知識 歯科麻酔管理に必要な基礎医学的知識を復習する。全身麻酔の術前処置について理解する</li> <li>3. 全身麻酔法 全身麻酔における手術危険度を理解し、様々な麻酔法を理解する。周術期の合併症とその対策を理解する。</li> <li>4. 特別な配慮を要する全身麻酔法と歯科における鎮静 小児、高齢者、障害者の全身麻酔法を学習する。歯科における鎮静(精神鎮静法)精神鎮静法の実践を理解する。</li> <li>5. 救急処置と疼痛管理 最新の救急処置法、および蘇生法を理解する。口腔顎顔面領域の疼痛治療法を理解する。</li> </ol>						

#### 教育目標

ディプロマポリシー	DP1-1/1-2/1-3	DP2-1/2-2/2-3	DP3-1/3-2/3-3	カリキュラムポリシー-CP	CP1,CP3
	a / c / c	a / b / a	b / b / b		
a.学習成果を上げるために特に強く履修することが求められる科目 b.学習成果を上げるために強く履修することが求められる科目 c.学習成果を上げるために履修する科目					
教科書等 記号 / 書名 / 著書など / 発行所・HPアドレスなど					
教 1/ 歯科麻酔・生体管理学(第2版)/ 吉田和市編/ 学建書院 教 2/ 歯科麻酔学(第8版)/ 福島和昭監修/ 医歯薬出版					

#### 評価方法

出 欠 席	講義をやむを得ない理由で欠席した場合は原則として補完授業を受講する。 実習・演習の欠席は原則認めない。やむおえず欠席した場合は、担当教員へ個別に連絡し、補完実習とレポートを行う。						
モジュール試験(%)	80						
アクティビティ(%)	20 実習の実技の習熟度と、レポートで評価する。レポートの課題は講義初日に提示する。						
	アクティビティ詳細 (%)	事前試験	実技評価	レポート	口頭試問	態度評価	その他
			10	10			
再試験の評価方法	モジュール試験が不合格の場合は再試験を行う。また、アクティビティが不十分であった場合は、科目責任者が必要に応じて追加履修によりアクティビティを再評価する。						
フィードバックについて	モジュール試験後に、フィードバック講義を実施します。						
アクティブラーニング	該当						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_001_6/4_1限	2026/06/04	1		講義	12番教室	60
ユニット	歯科麻酔学概論と局所麻酔法					
サブユニット	歯科麻酔学概論					
授業目標	1)麻酔科学とは何か説明できる 2)麻酔の歴史を学ぶ 3)麻酔行為と歯科医師法を学ぶ 4)全身麻酔を分類できる 5)局所麻酔を分類できる 6)歯科麻酔の特殊性を説明できる					
キーワード	anesthesia、華岡青洲、亜酸化窒素、H. Wells、W. T. G. Morton、全身麻酔、局所麻酔					
担当	脇田 亮					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1：p. 1-9 事後学習 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,E-1-2-1,E-1-2-2					
国試出題基準(令和5年)	必修12-7					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_002_6/4_2限	2026/06/04	2		講義	12番教室	60
ユニット	歯科麻酔学概論と局所麻酔法					
サブユニット	全身状態の把握					
授業目標	1)一般検査方法を学ぶ 2)バイタルサインを理解する 3)脈拍数、血圧、呼吸数の測定法について学ぶ 4)歯科治療中のモニタリングを説明できる 5)訪問歯科診療と全身管理について理解する					
キーワード	バイタルサイン、脈拍数、呼吸数、血圧、体温、意識障害の評価、パルスオキシメータ、血圧の測定方法、呼吸の観察、モニターとしての心電図、訪問歯科診療					
担当	脇田 亮					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1：p. 11-16 事後学習 講義内容					
コアカリ(令和4年)	E-2-3-2,E-2-3-3,E-2-3-4,E-2-3-6,E-2-3-7					
国試出題基準(令和5年)	必修8-I-a,必修8-I-b,必修8-I-c,必修8-I-d,総論VII-4-I-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_003_6/4_3限	2026/06/04	3		講義	12番教室	60
ユニット	歯科麻酔学概論と局所麻酔法					
サブユニット	局所麻酔法					
授業目標	1)局所麻酔薬の作用機序を説明できる 2)神経線維の種類を説明できる 3)局所麻酔薬の構造を学ぶ 4)局所麻酔薬の全身作用を理解する 5)局所麻酔法の実際を説明できる					
キーワード	ナトリウムチャネル、A $\delta$ 線維、C線維、エステル型、アミド型、局所麻酔薬中毒、局所麻酔薬アレルギー					
担当	今泉 うの					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1：p.69-73 事後学習 講義内容					
コアカリ(令和4年)	E-1-3-1					

国試出題基準(令和5年)	必修11-カ-a,総論VII-4-ウ-a,総論II-1-ク-d,総論II-1-ク-b
--------------	--

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_004_6/4_4限	2026/06/04	4		講義	12番教室	60
ユニット	歯科麻酔学概論と局所麻酔法					
サブユニット	各種局所麻酔薬					
授業目標	1)エステル型局所麻酔薬とアミド型局所麻酔薬を分類できる 2)血管収縮薬を添加する目的を説明できる 3)浸潤麻酔、表面麻酔、伝達麻酔を説明できる 4)局所麻酔による合併症を説明できる					
キーワード	リドカイン、プロカイン、コカイン、アドレナリン、フェリプレッシン、正円孔伝達麻酔、下顎孔伝達麻酔、オトガイ孔伝達麻酔、Gow-Gates法、クインケ浮腫					
担当	片桐法香					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1 : p.74-94 事後学習 講義内容					
コアカリ(令和4年)	E-1-3-1					
国試出題基準(令和5年)	必修11-カ-a,総論VII-4-ウ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_005_6/11_1限	2026/06/11	1		講義	12番教室	60
ユニット	歯科麻酔管理に必要な基礎知識					
サブユニット	自律神経系と循環系					
授業目標	1)自律神経の解剖と特徴を理解する 2)神経線維の種類による伝達物質を説明できる 3)循環反射を説明できる 4)心血管系について理解する					
キーワード	自律神経、アセチルコリン、ノルアドレナリン、圧受容反射、呼吸性不整脈、化学受容器反射、循環反射、心筋の酸素需要、心拍出量、血圧の調節、局所循環					
担当	脇田 亮					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1 : p. 95-103 事後学習 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-5-1,A-3-1-5-2,A-3-1-5-3,A-3-1-5-4,A-3-1-5-5,A-3-1-5-6,A-3-1-5-7,A-3-1-5-8,A-3-1-6-1,A-3-1-6-2,A-3-1-6-3,A-3-1-6-4,A-3-1-8-1,A-3-1-8-2					
国試出題基準(令和5年)	総論II-1-ウ-a,総論II-1-ウ-b,総論II-1-ク-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_006_6/11_2限	2026/06/11	2		講義	12番教室	60
ユニット	歯科麻酔管理に必要な基礎知識					
サブユニット	呼吸					
授業目標	1)肺機能について理解する 2)ガス交換を説明できる 3)ヘモグロビン酸素解離曲線を理解する 4)低酸素症と高二酸化炭素症を理解する					
キーワード	肺機能、肺気量の分画、肺機能、ヘモグロビン酸素解離曲線、低酸素症、チアノーゼ、高二酸化炭素症、CO2ナルコーシス					
担当	脇田 亮					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1 : p. 104-110 事後学習 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-8-1,A-3-1-8-2					

国試出題基準(令和5年)	総論Ⅱ-1-I-a,総論Ⅱ-1-I-b,総論Ⅱ-1-I-c
--------------	-------------------------------

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_007_6/11_3限	2026/06/11	3		講義	12番教室	60
ユニット	歯科麻酔管理に必要な基礎知識					
サブユニット	酸塩基平衡、内分泌系、歯科治療時の患者管理					
授業目標	1)酸塩基平衡について説明できる 2)内分泌系について学ぶ 3)全身疾患と歯科治療時の管理を説明できる					
キーワード	酸塩基平衡、内分泌系、循環器系疾患、呼吸器系疾患、脳血管障害、糖尿病					
担当	脇田 亮					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1 : p.111-115, p.p.228-236 事後学習 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-9-1,A-3-1-9-2,A-3-1-9-3,A-3-1-9-4,A-3-1-9-5					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-f,総論Ⅱ-1-ケ-a,総論Ⅱ-1-ケ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_008_6/11_4限	2026/06/11	4		講義	12番教室	60
ユニット	全身麻酔法					
サブユニット	全身麻酔と術前管理・術前処置					
授業目標	1)全身麻酔の要素を説明できる 2)患者の術前管理について学ぶ 3)手術危険度に応じた麻酔を選択できる 4)患者の術前処置について理解する					
キーワード	全身麻酔四大要素、血液検査基準値、尿検査と腎機能検査、肺機能検査、循環機能検査、肝機能検査、手術危険度、麻酔前投薬、術前回診、経口摂取制限、麻酔前投薬					
担当	片桐法香					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1 : p.117-130 事後学習 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-1-2-3-1,D-1-2-3-2,D-1-2-3-3					
国試出題基準(令和5年)	必修11-カ-b,総論Ⅶ-4-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_009_6/18_1限	2026/06/18	1		講義	12番教室	60
ユニット	全身麻酔法					
サブユニット	全身麻酔法 ①					
授業目標	1)全身麻酔器・麻酔回路について理解する 2)麻酔の導入について説明できる 3)気道確保を説明できる					
キーワード	全身麻酔四大要素、麻酔回路、麻酔器の構造、急速導入、緩徐導入、迅速導入、意識下挿管、気管挿管、声門上器具、輪状甲状膜穿刺、気管切開					
担当	今泉 うの					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1 : p.117-118,149-159 事後学習 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-1-2-3-1,D-1-2-3-2,D-1-2-3-3					
国試出題基準(令和5年)	必修11-カ-b,総論Ⅶ-4-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_010_6/18_2限	2026/06/18	2		講義	12番教室	60
ユニット	全身麻酔法					
サブユニット	全身麻酔法 ②					
授業目標	1)吸入麻酔薬を説明できる 2)静脈麻酔薬を説明できる					
キーワード	吸入麻酔薬の導入に影響する因子、最小肺胞濃度、ガス麻酔薬、揮発性麻酔薬、麻酔深度、静脈麻酔薬					
担当	今泉 うの					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1 : p.131-141 事後学習 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-1-2-3-1,D-1-2-3-2,D-1-2-3-3					
国試出題基準(令和5年)	必修11-カ-b,総論Ⅶ-4-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_011_6/18_3限	2026/06/18	3		講義	12番教室	60
ユニット	全身麻酔法					
サブユニット	全身麻酔法 ③					
授業目標	1)中枢性鎮痛薬を説明できる 2)筋弛緩薬を説明できる 3)特殊な麻酔法を理解する					
キーワード	麻薬性鎮痛薬、非麻薬性鎮痛薬、麻薬拮抗薬、脱分極性筋弛緩薬、非脱分極性筋弛緩薬、筋弛緩作用への影響因子、ニューロレプト麻酔、低血圧麻酔、バランス麻酔					
担当	黒田 英孝					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1 : p.141-148,160-161 事後学習 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-1-2-3-1,D-1-2-3-2,D-1-2-3-3					
国試出題基準(令和5年)	必修11-カ-b,総論Ⅶ-4-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_012_6/18_4限	2026/06/18	4		講義	12番教室	60
ユニット	全身麻酔法					
サブユニット	術中合併症と患者管理					
授業目標	1)循環合併症について説明できる 2)呼吸合併症について説明できる 3)覚醒遅延について説明できる 4)悪性高熱症について説明できる 5)輸液輸血による合併症について説明できる					
キーワード	血圧異常、不整脈、肺機能の評価、全身麻酔中の肺合併症、メンデルソン症候群、覚醒遅延、悪性高熱症、輸血による合併症					
担当	黒田 英孝					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1 : p.162-178 事後学習 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-1-2-3-1,D-1-2-3-2,D-1-2-3-3					
国試出題基準(令和5年)	必修11-カ-b,総論Ⅶ-4-イ-b,総論Ⅶ-4-イ-d,総論Ⅶ-4-イ-e,総論Ⅶ-4-イ-f					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_013.6/25_1限	2026/06/25	1		講義	12番教室	60
ユニット	特別な配慮を要する全身麻酔法と歯科における鎮静					
サブユニット	全身麻酔における小児と高齢者の管理					
授業目標	1)全身麻酔における小児の管理を理解する 2)全身麻酔における高齢者の管理を理解する					
キーワード	小児の身体的特徴、小児全身麻酔の実際、小児麻酔回路、高齢者の身体的特徴					
担当	森本 佳成					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1 : p.182-194 事後学習 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-2-2-1,A-2-2-2,D-1-2-3-1,D-1-2-3-2,D-1-2-3-3					
国試出題基準(令和5年)	必修11-イ-a,必修11-イ-b,必修11-イ-c,総論VII-4-イ-a,総論VII-4-イ-b,総論VII-4-イ-c,総論VII-4-イ-d,総論VII-4-イ-e,総論VII-4-イ-f,総論VII-4-ウ-a,総論VII-4-ウ-b,総論VII-4-ウ-c,総論II-7-ア-a,総論II-7-ア-b,総論II-7-ア-c,総論II-7-イ-a,総論II-7-イ-b,総論II-7-イ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_014.6/25_2限	2026/06/25	2		講義	12番教室	60
ユニット	特別な配慮を要する全身麻酔法と歯科における鎮静					
サブユニット	全身麻酔における障害者の管理と歯科外来全身麻酔					
授業目標	1)障害者の特徴と全身管理を理解する 2)歯科外来全身麻酔について説明できる					
キーワード	障害者の特徴、主な障害、日帰り全身麻酔の条件、日帰り全身麻酔を避けるべき症例、全身麻酔法、日帰り麻酔の安全のための基準					
担当	森本 佳成					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1 : p.195-203 事後学習 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-2-1-1,A-2-1-2,A-2-1-3,A-2-1-4,A-2-1-5,A-2-1-6,A-2-1-7,A-2-2-1,A-2-2-2,A-2-3-1,A-2-3-2,A-2-3-3,A-2-3-4,A-2-4-1,A-2-4-2,A-2-4-3,A-2-4-4,A-2-4-5,A-2-4-6,A-2-4-7,A-2-4-8,D-1-2-3-1,D-1-2-3-2,D-1-2-3-3,D-5-8-1,D-5-8-2,D-5-8-3,D-5-8-4,D-5-8-5					
国試出題基準(令和5年)	必修11-イ-a,必修11-イ-b,必修11-イ-c,総論VII-4-ウ-b,各論V-4-ア-a,各論V-4-ア-b,各論V-4-ア-c,各論V-4-ア-d,各論V-4-ア-e,各論V-4-ア-f					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_015.6/25_3限	2026/06/25	3		講義	12番教室	60
ユニット	全身麻酔法					
サブユニット	術後合併症と患者管理					
授業目標	1)術後の合併症について説明できる					
キーワード	術後の合併症					
担当	黒田 英孝					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1 : p.179-181 事後学習 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-1-2-3-1,D-1-2-3-2,D-1-2-3-3					
国試出題基準(令和5年)	総論VII-4-イ-b,総論VII-4-イ-d,総論VII-4-イ-e,総論VII-4-イ-f,総論VII-4-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_016.6/25_4限	2026/06/25	4		講義	12番教室	60
ユニット	特別な配慮を要する全身麻酔法と歯科における鎮静					
サブユニット	精神鎮静法					

授業目標	1)笑気吸入鎮静法と静脈内鎮静法の比較ができる
キーワード	吸入鎮静法の長所と短所、静脈内鎮静法の長所と短所、障害者の精神鎮静法
担当	黒田 英孝
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1：p.216-220 事後学習 講義内容
コアカリ(令和4年)	D-1-2-2-1,D-1-2-2-2,D-1-2-2-3,D-1-2-2-4,E-1-3-1,E-1-3-2,E-1-3-3
国試出題基準(令和5年)	必修11-カ-c,総論Ⅶ-4-イ-b,総論Ⅶ-4-イ-c,総論Ⅶ-4-イ-d,総論Ⅶ-4-イ-e,総論Ⅶ-4-イ-f,総論Ⅶ-4-ウ-c

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_017_7/2_1限	2026/07/02	1		講義	12番教室	60
ユニット	特別な配慮を要する全身麻酔法と歯科における鎮静					
サブユニット	精神鎮静法					
授業目標	1)精神鎮静法について説明できる 2)笑気吸入鎮静法について説明できる 3)静脈内鎮静法について説明できる					
キーワード	至適鎮静度、亜酸化窒素、鎮静深度、拡散性低酸素症、ミダゾラム、フルニトラゼパム、フルマゼニル、ペリルの徴候					
担当	黒田 英孝					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1：p.205-215 事後学習 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-1-2-2-1,D-1-2-2-2,D-1-2-2-3,D-1-2-2-4,E-1-3-2					
国試出題基準(令和5年)	必修11-カ-c,総論Ⅶ-4-イ-e,総論Ⅶ-4-イ-f,総論Ⅶ-4-ウ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_018_7/2_2限	2026/07/02	2		講義	12番教室	60
ユニット	救急処置と疼痛管理					
サブユニット	疼痛治療と緩和治療					
授業目標	1)歯科・口腔外科領域においてペインクリニックの対象となる疾患の診断と治療を説明できる					
キーワード	口腔顔面痛、顎関節症、緊張型頭痛、片頭痛、群発頭痛、神経障害性疼痛、三叉神経痛、舌咽神経痛、帯状疱疹、外傷性神経障害性疼痛、複合性局所疼痛症候群、非定型顔面痛、心因性疼痛、顔面神経麻痺					
担当	今泉 うの					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1：p.263-276 事後学習 講義内容					
コアカリ(令和4年)	E-1-3-3,E-3-1-1,E-3-1-2,E-3-1-3,E-3-2-1,E-3-2-2,E-3-2-3,E-3-2-4					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅱ-6-ア-a,総論Ⅲ-1-サ-a,総論Ⅲ-1-サ-b,総論Ⅲ-1-サ-c,総論Ⅲ-1-サ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_019_7/2_3限	2026/07/02	3		講義	12番教室	60
ユニット	救急処置と疼痛管理					
サブユニット	疼痛治療と緩和治療					
授業目標	1)痛みの生理を理解する 2)神経ブロックの効果、意義と方法を説明できる 3)その他の治療法について理解する 4)疼痛とQOLについて学ぶ					
キーワード	侵害受容器、門調節系、下行性抑制系、下行性賦活系、星状神経節ブロック、三叉神経末梢枝および神経ブロック、東洋医学的治療、鍼灸治療、漢方治療、癌性疼痛治療法					
担当	今泉 うの					

学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1 : p.259-262 事後学習 講義内容
コアカリ(令和4年)	D-3-1-1-1,D-3-1-1-2,D-3-1-1-3,D-3-1-1-4,D-3-1-2-1,D-3-1-2-2,D-3-1-2-3,D-3-1-2-4,D-3-1-2-5,D-3-1-3-1,D-3-1-3-2,D-3-1-3-3,D-3-1-3-4,D-3-1-3-5,D-3-1-3-6,D-3-1-3-7,D-3-1-4-1,D-3-1-4-2,D-3-1-5-1,D-3-1-5-2,D-3-1-6-1,D-3-1-6-2,D-3-1-6-3,D-3-1-6-4,D-3-1-6-5,D-3-1-6-6,D-3-1-7-1,D-3-1-7-2,D-3-1-8-1,D-3-1-8-2,D-3-1-8-3,D-3-1-8-4,D-3-1-8-5,D-3-1-8-6,D-3-1-8-7,D-3-1-9-1,D-3-1-9-2,D-3-1-9-3,D-3-1-9-4,D-3-1-9-5,D-3-1-10-1,D-3-1-10-2,D-3-1-10-3,D-3-1-10-4,D-3-1-10-5,D-3-1-10-6,D-3-1-10-7,D-3-1-10-8,D-3-1-10-9,D-3-1-10-10,D-3-1-10-11,D-3-1-11-1,D-3-1-11-2,D-3-1-11-3,D-3-1-11-4,D-3-1-11-5,D-3-1-11-6,D-3-2-1,D-3-2-2,D-3-2-3,D-3-2-4,D-3-2-5,E-1-3-3,E-2-2-7
国試出題基準(令和5年)	総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e,総論VII-8-ウ-a,総論VII-8-ウ-b,総論VII-8-ウ-c,総論VII-8-ウ-d,総論VII-8-ウ-e,総論VII-8-ウ-f,総論VII-8-ウ-g,総論VII-8-ウ-h,総論VII-5-ア,総論VII-5-イ,総論III-2-ア-e,総論III-1-サ-a,総論III-1-サ-b,総論III-1-サ-c,総論III-1-サ-d

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_020_7/2_4限	2026/07/02	4		講義	12番教室	60
ユニット	救急処置と疼痛管理					
サブユニット	歯科における全身偶発症					
授業目標	1)全身疾患をもつ患者の歯科用局所麻酔薬投与時の注意点が説明できる 2)血管迷走神経反射について説明できる 3)過換気症候群について説明できる 4)アナフィラキシーについて説明できる 5)ショックについて説明できる					
キーワード	ショック、脳貧血、アドレナリン過剰反応、局所麻酔薬中毒、アナフィラキシーショック、メトヘモグロビン血症					
担当	片桐法香					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1 : p.221-227 事後学習 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-1-1-1,D-1-1-2,D-1-1-3,E-1-2-1,E-1-2-2					
国試出題基準(令和5年)	必修10-ア-a,必修10-ア-b,必修10-イ-b,総論VII-4-イ-a,総論VII-4-イ-b,総論VII-4-イ-c,総論VII-4-イ-d,総論VII-4-イ-e,総論VII-4-イ-f					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_021_7/9_1限	2026/07/09	1		講義	12番教室	60
ユニット	救急処置と疼痛管理					
サブユニット	救急処置と蘇生法					
授業目標	1)初期救急について理解する 2)救急蘇生法について理解する					
キーワード	失神、ショック、けいれん、呼吸困難、胸痛、嘔吐、誤飲と誤嚥、ショック体位、昏睡体位、CPR、AED、一次救命処置					
担当	脇田 亮					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1 : p.237-250 事後学習 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-1-1-1,D-1-1-2,D-1-1-3,E-1-2-1,E-1-2-2					
国試出題基準(令和5年)	必修10-イ-a,必修10-イ-b,総論VII-3-ア-a,総論VII-3-ア-b,総論VII-3-ア-c,総論VII-3-イ-a,総論VII-3-イ-b,総論VII-3-イ-c,総論VII-3-ウ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_022_7/9_2限	2026/07/09	2		実習・演習	21番教室,多目的室	60
ユニット	救急処置と疼痛管理					
サブユニット	救急処置と蘇生法					
授業目標	1)一次救命処置ができる 2)歯科における全身偶発症とその対応について説明できる					
キーワード	一次救命処置、過換気症候群、血管迷走神経反射、アナフィラキシーショック					
担当	今泉 うの,黒田 英孝,脇田 亮,片桐法香					

学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1 : p.251-258 事後学習 講義内容
コアカリ(令和4年)	D-1-1-1,D-1-1-2,D-1-1-3,E-1-2-1,E-1-2-2
国試出題基準(令和5年)	必修10-ア-a,必修10-ア-b,必修10-イ-a,必修10-イ-b,必修11-イ-a,必修11-イ-b,必修11-イ-c,総論VII-3-ア-a,総論VII-3-ア-b,総論VII-3-ア-c,総論VII-3-イ-a,総論VII-3-イ-b,総論VII-3-イ-c,総論VII-3-ウ

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_023_7/9_3限	2026/07/09	3		実習・演習	21番教室,多目的室	60
ユニット	救急処置と疼痛管理					
サブユニット	救急処置と蘇生法					
授業目標	1)一次救命処置ができる 2)歯科における全身偶発症とその対応について説明できる					
キーワード	一次救急処置、過換気症候群、血管迷走神経反射、アナフィラキシーショック					
担当	今泉 うの,黒田 英孝,脇田 亮,片桐法香					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1 : p.251-258 事後学習 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-1-1-1,D-1-1-2,D-1-1-3,E-1-2-1,E-1-2-2					
国試出題基準(令和5年)	必修10-ア-a,必修10-ア-b,必修10-イ-a,必修10-イ-b,必修11-イ-a,必修11-イ-b,必修11-イ-c,総論VII-3-ア-a,総論VII-3-ア-b,総論VII-3-ア-c,総論VII-3-イ-a,総論VII-3-イ-b,総論VII-3-イ-c,総論VII-3-ウ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L4401_024_7/9_4限	2026/07/09	4		実習・演習	21番教室,多目的室	60
ユニット	救急処置と疼痛管理					
サブユニット	救急処置と蘇生法					
授業目標	1)一次救命処置ができる 2)歯科における全身偶発症とその対応について説明できる					
キーワード	一次救急処置、過換気症候群、血管迷走神経反射、アナフィラキシーショック					
担当	今泉 うの,黒田 英孝,脇田 亮,片桐法香					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書1 : p.251-258 事後学習 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-1-1-1,D-1-1-2,D-1-1-3,E-1-2-1,E-1-2-2					
国試出題基準(令和5年)	必修10-ア-a,必修10-ア-b,必修10-イ-a,必修10-イ-b,必修11-イ-a,必修11-イ-b,必修11-イ-c,総論VII-3-ア-a,総論VII-3-ア-b,総論VII-3-ア-c,総論VII-3-イ-a,総論VII-3-イ-b,総論VII-3-イ-c,総論VII-3-ウ					